

● あるる 2004年7月号・9月号 掲載記事 詳細

Q 前歯の黄ばみが気になって、歯を見せて笑う事ができません。

前歯の黄ばみが気になって口を開けて写真を撮ったり、人前で歯を見せて笑う事ができません。どのような方法で治療することができるのでしょうか？(23歳 読者OL)

A 毎月あるるに寄せられる質問や悩みについて市内で開業しておられる先生にお答え頂きました。



この22歳の女性は、歯の黄ばみを気にし、口紅を塗ったとき、歯の色を白く目立たせたいという希望を持っていました。女性誌で「ホワイトニング」の事を知り、来院されました。

彼女の前歯は健全な生活歯(神経のある歯)であったため、バイタルブリーチング(生活歯のホワイトニング)という漂白処置を数回繰り返しました。この結果、前歯は明るく自然な色調になりました。ついに憧れだった白い歯を手に入れ、自信を持って大きく口を開けることが出来るようになり、素敵な笑顔になりました。

Bleaching(ホワイトニング)の治療概要

専用トレーにジェルを流し込み、口に入れます。効果促進のために診察室でレーザーや光線を当てる方法もありますが、通常は寝るときに実施します。3週間程度で歯が漂白されていきます。費用(保険適用外)は4~5万円程度です。後戻りや歯がしみるなどの副作用が出る場合もあります。また歯の状態によりできない場合もあります。全ての歯科医療機関が実施可能とは限りません。まずはお近くのかかりつけ歯科医を受診し、そこから専門医を紹介してもらうとよいでしょう。